

# もりの声

佐久の森林と林業  
2023年5月発行 No.37



WOOD CHANGE



## 目次

(第4期) 長野県森林づくり県民税	2
脱炭素社会に向けて森林が担うこと	4
主伐・再造林でカラマツ林業の再構築を!	5
ウッドチェンジ!	6
スマート林業のアレコレ	7
台風19号災害 復旧しました!	8
お知らせ	9

## ウッドチェンジ ～木材利用で脱炭素～

佐久を代表する樹木カラマツ。その材は「おもちゃ」にも利用されています。やさしい手触り・木の香りがするブロック玩具で遊ぶ園児たち。このブロックは、令和4年に佐久市の幼稚園に導入されたもので、カラマツのおがくずに樹脂を混ぜて作られており、長野県森林づくり県民税（森林税）が活用されています。

幼少期から木に親しみ木の良さを感じてもらうことは情操教育として望ましいことです。

木は二酸化炭素の貯金箱。おもちゃに限らず、積極的に木を使う「ウッドチェンジ」は、地球温暖化を防ぐための、身近で手軽にできる対策です。そして、SDGsの取組にも貢献しているのです。